

平成25年2月20日

豊中市 市長
浅利 敬一郎 殿

関西自然保護機構 会長 石井 実

連絡先：大阪市東住吉区长居公園 1-23

大阪自然史センター 気付

TEL: 06-6697-6262

<豊中市西緑丘あけぼのぼんぼこ保育園前の大阪層群露頭の保存を求める要望書>

豊中市西緑丘2丁目あけぼのぼんぼこ保育園の前には、大阪平野の地盤をなす大阪層群の地層がほぼ直立している様子が観察できる露頭があります。これは広く知られた露頭で、現在豊中市の「とよなか百景」において、「直立した地層（西緑丘）」としても紹介されています。大阪層群は一般にほぼ水平な地層からなりますので、本露頭のようにほぼ直立しているものは非常に珍しいものです。これは、大阪平野をほぼ南北に通る活断層である上町断層の北方延長である佛念寺山断層の上下方向の運動を示すものです。このような学術的価値より、以前は豊中市が所有していましたが、2010年に本露頭を含む土地が豊中市から民間に売却されました。そして現在、土地所有者とスギホールディングス株式会社の事業によって、本露頭が消滅してしまう可能性が出てきました。

大阪層群の露頭自体がこれまでの開発等によりほぼ消滅してしまい、900万人近くが暮らす大阪平野の地盤を直接観察できる本露頭は非常に学術的・教育的価値が高いものです。また、1995年の阪神淡路大震災や2011年の東日本大震災以降、人々の自分たちの生活域における地震・活断層や防災に対する興味・関心は非常に高いものがあります。佛念寺山断層は地下に伏在していますので、本露頭で断層自体が観察されるわけではありませんが、活断層の運動により地層の傾斜が大きくなり、ほぼ直立に至ったことを示す本露頭は、大都市域における地震防災教育においても非常に重要であります。実際に、近隣の小・中学校などでは理科教材として本露頭を活用されていると伺っています。このような観点からも、本露頭は本来、国や大阪府の天然記念物として認定され、公共物として積極的な保存が行われることが望ましいものです。

開発工事は既に始まっているようですが、関係各位におかれましては、本露頭の学術的・教育的価値を再認識して頂き、本露頭の全部もしくは一部保存に向けた対策をして頂けるよう要望します。